

2013年8月5日

News Release

株式会社セブン-イレブン・ジャパン
北海道林業・木材産業対策協議会
イワクラホーム株式会社
株式会社イワクラ

～店舗の構造材に北海道産のトドマツ材を初めて使用～ **セブン-イレブン「木造化店舗」** **全国 100 店舗目を北海道美唄市にオープン！**

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：井阪 隆一）は、北海道林業・木材産業対策協議会、イワクラホーム株式会社（本社：北海道札幌市、代表取締役社長：佐々木 与三郎）、株式会社イワクラ（本社：北海道苫小牧市、代表取締役社長：後藤 英夫）と連携し、木造化店舗 全国 100 店舗目（北海道内 99 店舗目）となる「セブン-イレブン美唄大通南店」を、2013年8月8日（木）、北海道美唄市東1条南6丁目にオープンいたします。

セブン-イレブンでは、2010年より北海道内において、環境面・コスト面を考慮した、2x4工法での木造化店舗建設を積極的に進めております。2010年2月にオープンした「セブン-イレブン様似大通2丁目店」を皮切りに、道内全域で木造化店舗を順次展開しており、木造化100店舗目となる今般の「セブン-イレブン美唄大通南店」では初めて、店舗の構造材に北海道産トドマツ材を使用いたしました。



セブン-イレブン美唄大通南店（建築時の様子）

今回の取り組みは、2008年に締結した、北海道とセブン-イレブン・ジャパンの包括連携協定に基づき、道産品の販路拡大の連携事項に沿って実施するものです。加えて、木造店舗として全国100店舗目となることから、新たに北海道林業・木材産業対策協議会との協働事業として実施。道産材の普及、新規用途開発の為の実証実験を合わせて行います。

2x4工法では使用する木材が輸入材主体となっていますが、「セブン-イレブン美唄大通南店」では国産材の活用を促進させる目的から、店舗建設に当たっては地域道産材であるトドマツを多く使用しており、地域に根ざした環境配慮型店舗の建設を積極的に推進してまいります。



セブン-イレブン美唄大通南店
内観完成イメージ

店内の建具の一部（カウンターの側板等）に道産材を使用し、温かみのある店内仕様に。

木造化店舗については道内各地の立地条件に合わせ、道内で 2 x 4 工法の高い技術を持つイワクラホーム(株)が、木造躯体の設計と新たな技術開発を進め、今年で創業 100 周年を迎えた木材総合企業である(株)イワクラのツーバイフォーパネル・トラス工場にて壁パネル・屋根トラス等の生産供給を行います。

今後、セブン-イレブン・ジャパンでは、同協議会と関係者により構成される「店舗・事務所等における地域材利用検討委員会」と協調しながら、道産材のさらなる活用と需要拡大に向け、コスト面等を検討しつつ、地域に根ざした環境配慮型の店舗建設を積極的に進めてまいります。

以 上